

2025年8月6日

各 位

## GPIF が採用するすべての ESG 投資指数の構成銘柄に継続選定

- GPIF が現時点で採用する国内株式を対象とする 6 つの ESG 指数について、運用開始当初よりすべての構成銘柄に継続選定
- 世界的な ESG 指数である FTSE4Good Index Series に 23 年連続で選定

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：奥田 修）は、このたび、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用する、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の要素に配慮した国内株式を対象とするすべての ESG 指数について、構成銘柄として継続選定されましたのでお知らせいたします。

【GPIF が現時点で採用する 6 つの ESG 指数】※運用開始当初より、すべての指数で継続選定

- FTSE Blossom Japan Index（2017 年 7 月から運用開始）  
環境、社会、ガバナンスの対応に優れた取り組みを行っている日本企業のパフォーマンスを反映するよう設計されたインデックス
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index（2022 年 3 月から運用開始）  
FTSE Blossom Japan Index と同様の ESG 評価をベースに、環境負荷の大きさ、および企業の気候変動リスクに対するマネジメントの評価を加えたインデックス
- MSCI 日本株 ESG セレクト・リーダーズ指数（2024 年 3 月から運用開始）  
MSCI 日本株 IMI 指数の構成銘柄の中から、業種に偏りの出ないよう ESG 評価の高い銘柄を選定して構成するインデックス
- MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）（2017 年 7 月から運用開始）  
日本株の時価総額上位 700 銘柄の中から、業種ごとに性別多様性に優れた銘柄を選別して構築するインデックス
- Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index（2023 年 3 月から運用開始）  
国内上場企業を幅広くカバーし、企業のジェンダー・ダイバーシティに関する取り組みを評価したインデックス
- S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数（2018 年 9 月から運用開始）  
東証株価指数（TOPIX）の構成銘柄を対象とし、環境情報の開示状況と炭素効率性の水準に着目して設計したインデックス

これらに加えて、当社は主要な ESG 指数である「FTSE4Good Index Series」に 23 年連続で選出されており、環境・社会・ガバナンスの観点でその持続可能性が高く評価されています。

中外製薬では「当社と社会の共有価値の創造」を経営の基本方針として掲げ、「患者中心の高度で持続可能な医療の実現」を目指しています。今後も、ステークホルダーの皆さまとの対話を重ねながら、事業活動を通じて持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

**【参考情報】**

中外製薬 サステナビリティ ウェブサイト 外部評価

<https://www.chugai-pharm.co.jp/sustainability/evaluation/>

中外製薬 サステナビリティ ウェブサイト 活動報告

<https://www.chugai-pharm.co.jp/sustainability/activity/>

中外製薬 アニュアルレポート

[https://www.chugai-pharm.co.jp/ir/reports\\_downloads/annual\\_reports.html](https://www.chugai-pharm.co.jp/ir/reports_downloads/annual_reports.html)

以上